

# **「みかわ」の学習 実践事例集**

# 国語科 自分の言葉で考えを伝える

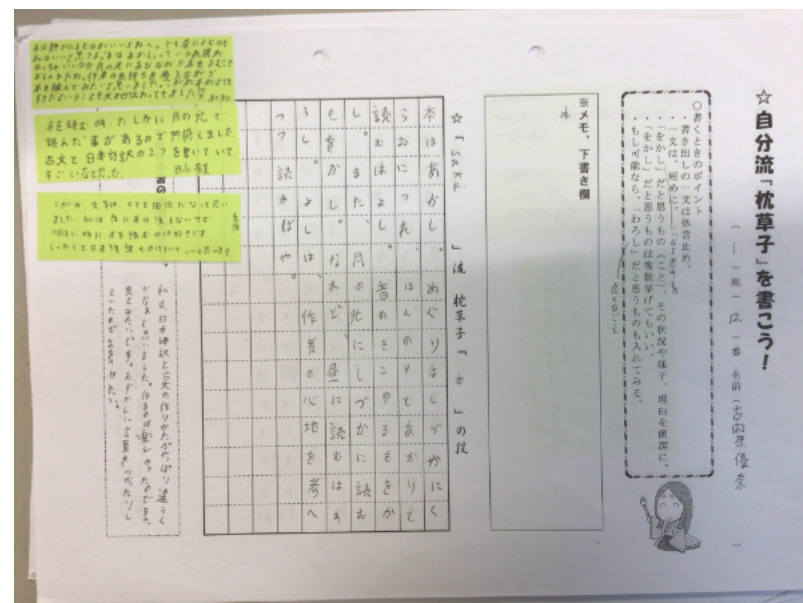
## 【具体的な取組】

「自分流『枕草子』を書こう」

「枕草子」を参考に自分の体験等に即して随筆を書き、交流し合うことによって様々な視点や感性に触れる。

## 【成果と課題】

- 定型やポイントを明確に示したことで、文章の組み立てがスムーズに行えた。
- 文章の工夫や個性的な視点について、肯定的に交流しあうことができた。
- ▼感性や表現を重視したため、論理性の不足及び正しい記述の文章に至らない場合があった。
- ▼古語的な表現に挑戦することで新たな学びや思考の深化は図れたものの、翻訳ソフト？等安易な方法に頼ってしまう面があった。



# 社会科：振り返りカードで、基礎基本の確認（取り組み）

単元名 第4部 アジアと太平洋に広がる戦線			
単元の課題 なぜ日本は戦争を拡大していったのだろうか。また、その結果はどうなったのだろうか			
学習日	キーワード・わかったこと	疑問がわいてきたこと・わからなかったこと	理解度4段階
6/13	日独伊三国同盟 太平洋戦争	米艦沈没の件は、この時は日本が第一被害者と思われていた。この頃には日本は...	A・B・C・D
6/14	大東亜戦争 満州移民	ビスマルク戦争は、日本人を多く殺した。...	A・B・C・D
6/15	東京大空襲 沖縄 → 広島 → 長崎	今、ヒトラーが生きていたら、戦争はまた...	A・B・C・D
/			A・B・C・D
/			A・B・C・D
/			A・B・C・D

単元全体の振り返り			
番号	内容	自己評価	
①	小学校では習わなかった、自分なりの新しい発見を見つけることができたか。	A・B・C・D	
②	この単元を学習して、その内容に自分なりの疑問を持つことができたか。	A・B・C・D	
③	授業ごとに設定された「めあて」を意識して取り組むことができたか。	A・B・C・D	
④	授業後に、分かったこと・分からなかったことを整理することができたか。	A・B・C・D	
⑤	ペア学習やグループワークの中で、自分の意見を出すことができたか。	A・B・C・D	

## 【今日の授業のキーワードは？】

- ①時間ごとに重要語句を書き出させることで、授業中も「何がキーワードになるか」を考えながら参加する。
- ②単元を貫く課題に対する答えには、キーワードを使って、文章にする。

単元の課題 なぜ政府は改革が必要だったのだろうか			
学習日	キーワード・わかったこと	疑問がわいてきたこと・わからなかったこと	理解度4段階
6/14	上野	山手線は、白馬というはたかいたこ子... かも、RPG	A・B・C・D
6/15	公事考徳や定書 目録箱 洋書	これは、手帳かメモ帳か... かも、RPG	A・B・C・D
6/20		これは、あつてが... かも、RPG	A・B・C・D
6/23	木居官長 寺子屋	これは、あつてが... かも、RPG	A・B・C・D
/			A・B・C・D
/			A・B・C・D

単元全体の振り返り			
番号	内容	自己評価	
①	小学校では習わなかった、自分なりの新しい発見を見つけることができたか。	A・B・C・D	
②	この単元を学習して、その内容に自分なりの疑問を持つことができたか。	A・B・C・D	
③	授業ごとに設定された「めあて」を意識して取り組むことができたか。	A・B・C・D	
④	授業後に、分かったこと・分からなかったことを整理することができたか。	A・B・C・D	
⑤	ペア学習やグループワークの中で、自分の意見を出すことができたか。	A・B・C・D	

## 【質問コーナーを作る】

- ①授業について行けない生徒の呟きが見て取れる。
- ②次の時間に、前の時間の疑問点の共有と確認ができる
- ③担当教諭とのコミュニケーションが取れる。



# 社会科：問題の出し合いと答えの共有で表現力を！



## 【一問一答の問題を作ること】

- ①5問テストをしないときには、ペアでお互いに問題を出し合う。
- ②出し方がまずいと、答えに辿りつかないので、問題文をその場で練って、わかりやすい文章にしなければならない。



## 【成果】

- ①言葉の説明をさせると、なかなかできないが、問題を出す作業はスムーズに取り組むことができた。
- ②より難しい問題を出そうとして、授業中の聞き漏らしが無いよう、集中して取り組もうとする生徒が増えた。

# 数学科：課題を協働的に修正、改善する取り組み

## 【具体的な取り組み】

課題に対して、自力解決の時間を十分に確保した後、友達に計算の仕方を尋ねたり、よりよい方法を互いに確かめ合ったりする。



## 【成果と課題】

○友達と協働的に解決することで自信を持つことができ、発表が積極的になる。

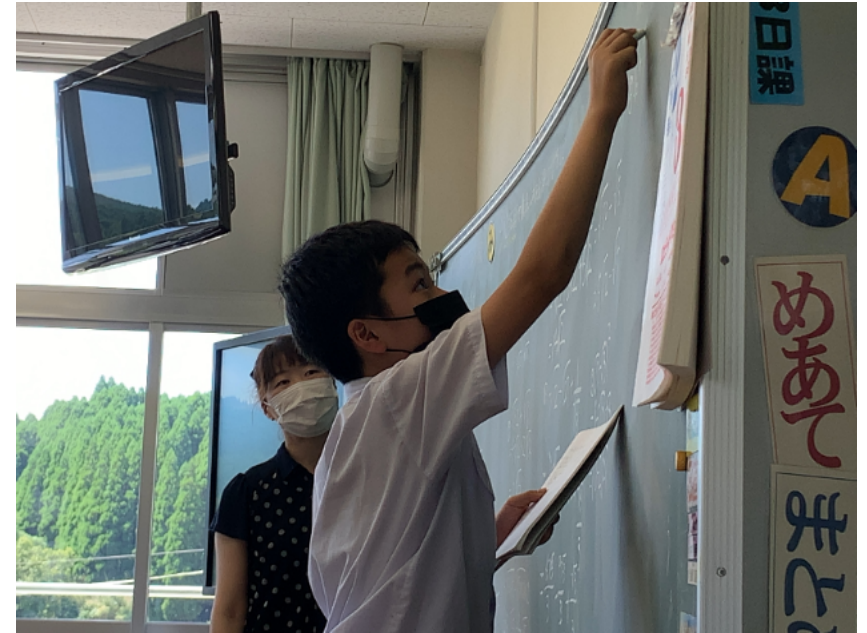
○一斉解答の前に困ったところを互いに教え合うことで、わからなかったところが解決でき、一斉解答の時に思考の整理ができる。

▲解く時間に個人差があり、最後まで問題を解答できずに協働解決になる。

# 数学科：課題を数学的な表現を用いて簡潔、明瞭、的確に表現するための取組

## 【具体的な取組】

課題に対して、自力解決の時間、協働的に修正する時間のあと、解答を全体で共有して、よりよい方法がないか練り合う。



## 【成果と課題】

○友達と協働的に解決することで自信を持って発表することができる。

▲より簡潔な方法についての意見発表者が固定化される。

# 数学科：課題を協働的に修正、改善する取組

## 【具体的な取り組み】

課題に対して、自力、協働、一斉解決のあと、自分の解答を改善し理解を深める。

平方根を含む式の乗法、除法

$$\frac{10}{\sqrt{8}} = \frac{10 \times \sqrt{8}}{\sqrt{8} \times \sqrt{8}} = \frac{10\sqrt{8}}{8} = \frac{5\sqrt{8}}{4} = \frac{5\sqrt{2^3}}{4} = \frac{5\sqrt{2} \cdot \sqrt{2}}{4} = \frac{5\sqrt{2}}{2}$$

分母は必ず有理化  
 $\sqrt{8}$ のような変形できるときは変形する。 $\sqrt{8}$ のまま答えない

## 【成果と課題】

○自分の誤答を分析し、つまずきを整理することができる。

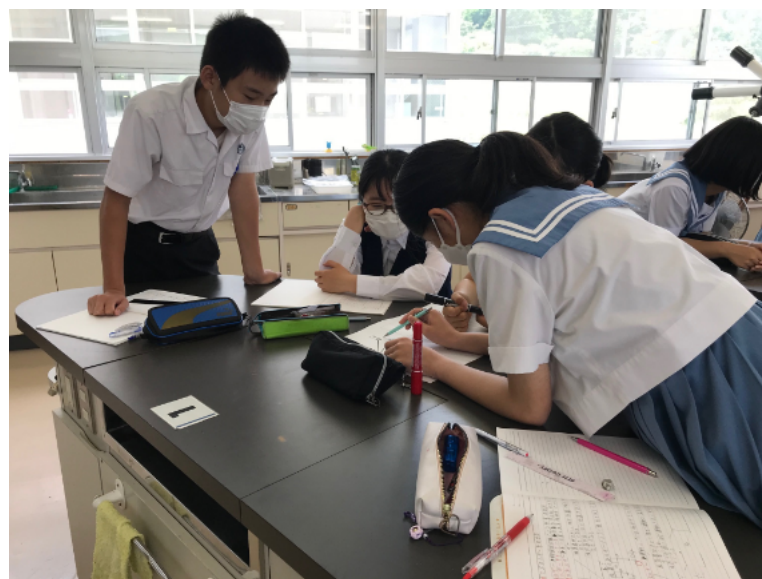
▲誤答の分析から、問題練習の時間が確保できずに分析だけで終わってしまった。



## 理科：科学的な思考で表現するための学び合い（課題解決編）

### 【具体的な取り組み】

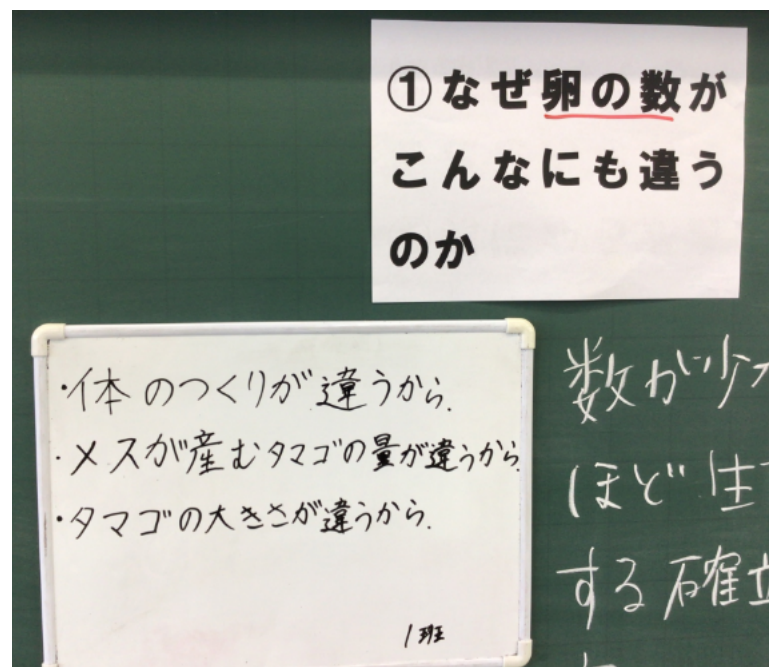
課題を出し、班員で協力して解決するようにしている。最終的には、グループ発表をして伝え合い、クラス全体で意見を交流させている。



### 【成果と課題】

○班活動を通して、科学的な思考にもとづきお互いに思考を深め合っている。まずは自分の考えを班の中で交流させてお互いの言葉から、課題を解決しようとしている。

▼全ての生徒が話に参加しているとは限らない。



# 理科：科学的な思考で表現するための学び合い（実験編）

## 【具体的な取組】

実験を通して解決する課題を出し、班員で協力して取り組むようにしている。最終的には、必ず全員考察を考えて、グループで意見を交流しながら考え、クラス全体でポイントの確認をしている。



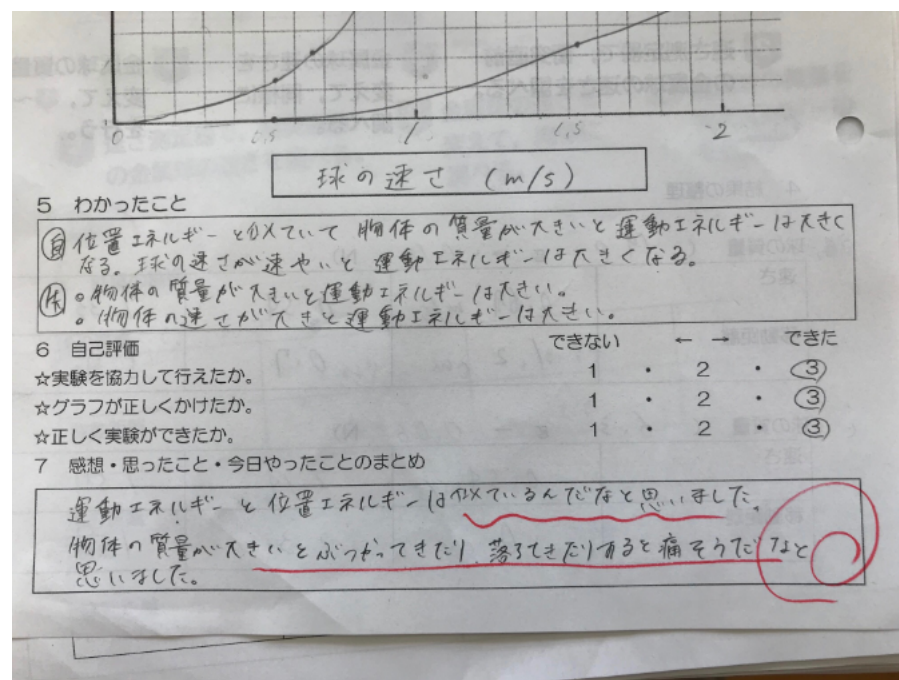
## 【成果と課題】

- 少人数で取り組むことで、実験の中での役割が必ずあり、協力をする場となっている。
- 方法や結果、考察などを班員で自由に話し合いながら活動を進めることができている。
- ▼やってみたいことが重なりと譲り合いをしなければならない。

# 理科：科学的な思考で表現するための学び合い（振り返り編）

## 【具体的な取組】

実験のワークシートの最後に振り返り・まとめの場所を設けている。どんな形でもいいので、実験を通して思ったことを自分なりの表現で書く。



## 【成果と課題】

- 日常生活と関連づけて考えて、表現している生徒もみられた。
- 自由に書くことで、生徒それぞれの個性を生かし多様な表現を見ることができる。
- 自由なので、何もかけないという人がいない。
- ▼感想だけで終わる時もあり、深い学びに結びつかない時もある。
- ▼生徒同士の交流の時間が毎回は取れない。

# 理科：全員が課題を解決するための学び合い

## 【具体的な取組】

前時までの復習について課題を出し、まずは自分の力でとく。解き終わったら、まず班のメンバー内で学び合いをする。班が全員終わったら班の番号を黒板に表示する。その後まだ終わっていない班へ行き、学び合い活動をする。班全部の表示が黒板に出されたら終了。



終了した班の一人が、自分の班番号を表示している。

## 【成果と課題】

- 誰一人取り残さないようにすることができ、全員が終わって終了できる。
- 全員終わらないと進まないことがわかっているので、生徒たちもみんな協力して終わろうとする。
- ▼早く終わっても、教えに行くことができない生徒がいる。
- ▼学び合いをしても、時間がとてもかかる生徒もいる。

# 英語科：「学び合いのススメ」の共有



## 【具体的な取組】

「学び合いのススメ」に記載してある、教科における表現力や「学び合い」学習の進め方について生徒と共通理解を図って実施した。

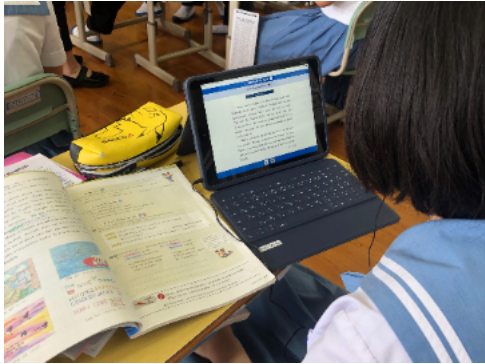


## 【成果と課題】

○目的等について生徒と一緒に確認をすることで、目指す「学び合い」の姿を確認することができた。

▼継続した冊子の活用（意識づけ）の方法には工夫が必要である。

# 英語科：デジタル教科書とロイロノートを活用した音読練習



## 【具体的な取組】

一斉に発音の確認をした後、個人練習の時間をとる。生徒たちはデジタル教科書の音声を聞いて発音を再度確認したり、クラスメイトに質問したりしながら制限時間いっぱい練習をする。

制限時間が来たら、ロイロノートで音読を録音して教師に提出する。



## 【成果と課題】

○自分のわからない語や表現の確認を自分のペースで取り組むことができた。制限時間を設けたり、全員が提出するという状況を作ることで、生徒たちがより主体的に取り組むことができた。

▼活動にはまとまった時間を要するため、授業の構成には工夫が必要である。

▼一斉に録音すると雑音も入ってしまうため、イヤホンなどの準備が必要である。



## 英語科：全員が課題を克服するための学び合い（問題編）



### 【具体的な取組】

文法の練習問題を解く時、早く終わった生徒が困っている生徒に教える学び合いの学習を行なった。答えを教えるのではなく「どのようにすればよいか」を説明するようにさせた。



### 【成果と課題】

○教える側は、「どのように教えるか」を考  
えることで、より深く学習事項について考  
えるようになった。

▼教わる側の生徒が固定化してしまい、相  
手に任せたり「聞けばいいや」とその場の  
みの活動になってしまう場面が多くあった。

# 英語科：ダイアログ（対話）による文法の導入

## 【具体的な取組】

新出の文構造の導入の際には、ペアによる対話文のやり取りをする方法で取り組んだ。「AさんBさんのやり取り」と名づけ、ジャンケンで勝った生徒がAさん役、負けた生徒がBさん役など決めて取り組んだ。

## 【成果と課題】

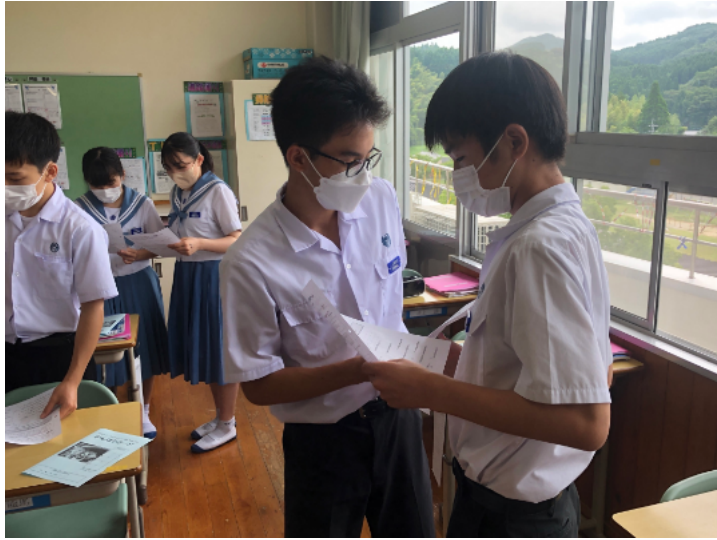
○いろいろな生徒と活動することができる。

発

音やリズム、イントネーションなどクラスメイトの発音から英語的な表現を学び取ることができた。

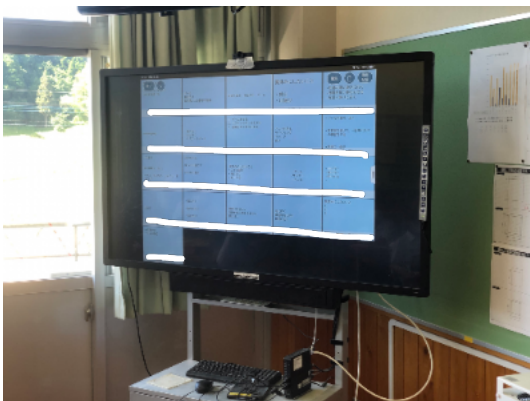
○使用する場面などを合わせて意識することができた。また、複数の生徒と話す場面があることで、対話をする雰囲気作りをすることができた。

▼一斉に活動をするので、細部までは目が届かないことがある。





# 英語科：ロイロノートを活用した「書く活動」



## 【具体的な取組】

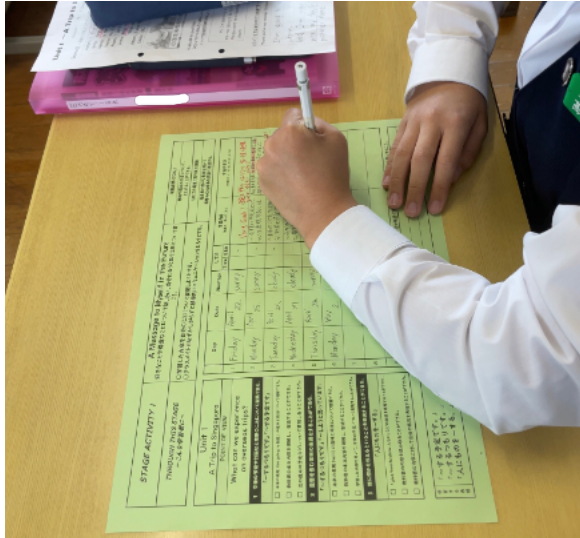
「夏休みにしたいこと」などをテーマに英作文をする際に、ロイロノートを用いて、何について表現するつもりなのかのメモ（日本語）を一旦提出させた。同じような内容を表現しようとする生徒を見つけた生徒たちは、その生徒の近くに行き、話をしながら英文を協力して作成する。

## 【成果と課題】

- 何を表現しようか悩んでいる生徒も友だちのアイデアを見て自分の考えを深めることができる。
  - テーマによってはカードの色をテーマ別にするなど、さらに工夫をすることで視覚的にわかりやすくすることができる。
- ▼示すタイミングによっては、生徒のオリジナルのアイデアを妨げる原因にもなりかねない。

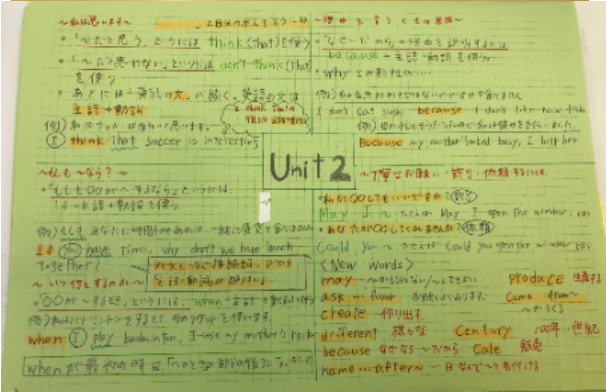


# 英語科：まとめと振り返りの活動



## 【具体的な取組】

単元を見通したチェックリストと各時間の記録をするシート（「頑張りカード」）を準備する。毎時間、授業の曜日、日付、天気に加え、「今日の学習内容（めあて）」と「今日の学び（考えたこと、できるようになったこと）」を書くようにした。また、単元末には自分のまとめ方で単元をまとめるような取組を行なっている。



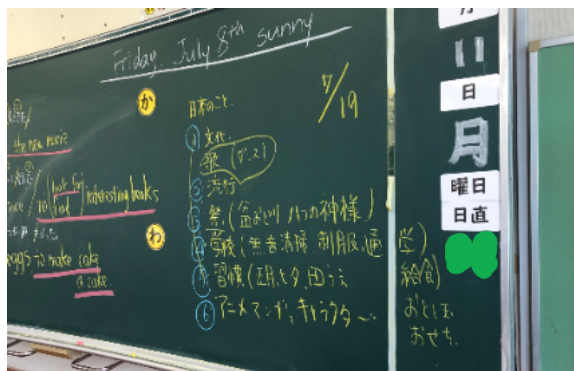
## 【成果と課題】

○「自分の言葉で」説明することが大切であることを伝えて取り組んだ。単元のまとめについては様々なまとめ方があり、生徒たち同士も参考にし合う様子が見られた。

▼まとめや振り返りについては自分の言葉でまとめた言葉（キーワード）を使って、友だちに伝える取組を行なうが、時間の使い方がうまくいかず、継続して取り組むことができていない。授業の中で確実に取り組むことができるような構成をする必要があると考えている。

Day	Date	Weather	L.E.S.	今日の学び (Today's Focus)
Friday	May 25	Sunny	A	...
Monday	May 28	Sunny	A	...
Tuesday	May 31	Sunny	A	...
Wednesday	June 1	Sunny	A	...
Tuesday	June 7	Sunny	A	...
Monday	June 13	Sunny	A	...
Tuesday	June 14	Sunny	A	...
Wednesday	June 15	Sunny	A	...
Monday	June 18	Sunny	A	...
Tuesday	June 21	Sunny	A	...
Wednesday	June 22	Sunny	A	...

# 英語科：海外とのオンライン交流に向けて



## 【具体的な取組】

ALTの知り合いであるイスラエルの中学生とオンラインで交流を行なった。公用語はヘブライ語であり、「外国語」として英語を学習している。）オンラインで日本についての様々な点を英語で紹介するという活動を行なった。



## 【成果と課題】

○「何を伝えるか」について班でアイデアを出して内容の検討を行なった。文化的な背景等を意識させることで、相手意識を持った活動にすることができた。

○「どのように伝えるか」についても生徒がICTを活用して、方法や具体的な内容を検討しながら準備をすることができた。意欲を持って活動を進めることができた。

○自分が学習してきた英語を伝える実際のあることで、「伝わったよろこび」や、取組を通して見えてきた課題を次の学習へのモチベーションにすることができた。

▼時差の問題があり、活動することができ時間帯が限られてしまうことと、準備に時間を要してしまい、なかなか授業が進まないという事態が発生した。



# 音楽科：歌唱活動における学習規律と学び合い

さあ、みんなの気持ちを一つにして、頑張ろう！

聴く時・考える時は、「座る」  
歌うときは、「立つ」  
指示が出たら、返事はそろえて「はい！」

## パート練習 本日の指令！

- ① (座る) 黙ってCDパート音声を聴く。
- ② (起立) CDパート音声に混ざるように、ハミングで 軽く 歌う。
- ③ (座る) まずは各自一人で、音程をつかみにくいところはどこかを考える。  
ファイルの歌詞を見ながら【約1分】
- ④ (座る) パート全員で、音程をつかみにくいところはどこかを出し合い共有する。
- ⑤ (起立) CDパート音声に混ざるように、④で出し合った場所を中心に  
歌詞で 音程を正確に歌う練習をする。
- ⑥ ④と⑤をくり返す。

## 【具体的な取組】

指導者のアドバイスをもとに、まずはイメージしている表現方法について言葉にできる子ども達を中心に意見を交わし表現方法を共有した。

学習規律が乱れず、安心して表現できる雰囲気ができるのと、生徒皆の表情が明るくなり、表現もより積極的に変化する。積極的に表現できたことを皆で共有・共感できたことで、気分は高揚し、さらに意見が弾み出す。

## 【成果と課題】

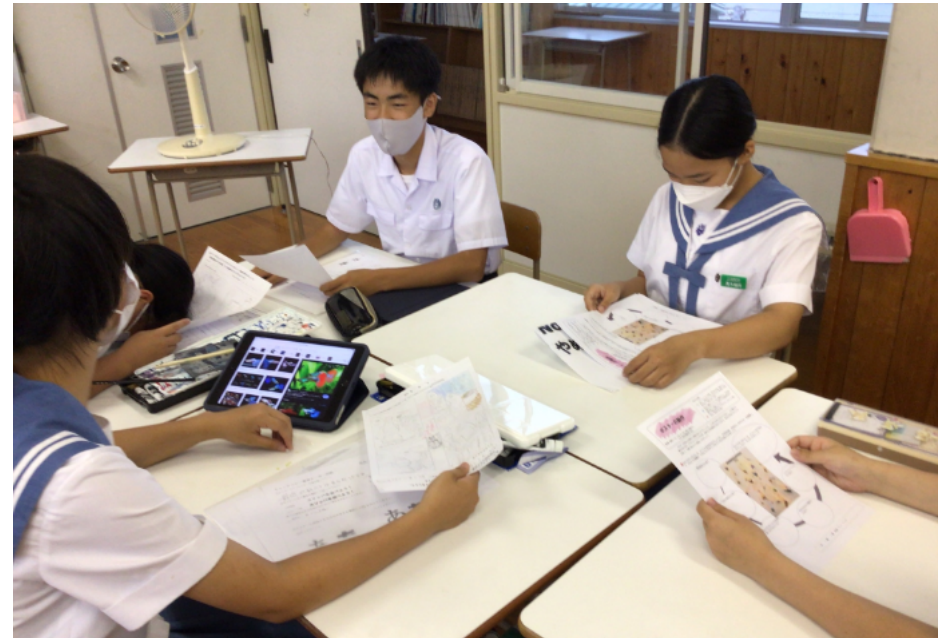
○基本的な学習規律は、時間をかけず守れる子ども達であり、より多く経験を積むことで、歌唱・意見交流ともに表現力が向上していく力を感じている。

▲コロナ禍でもあり、2・3年生のみ、まだ数回しか実施できていない。

# 美術科：発想・構想力を高めるための情報交換会

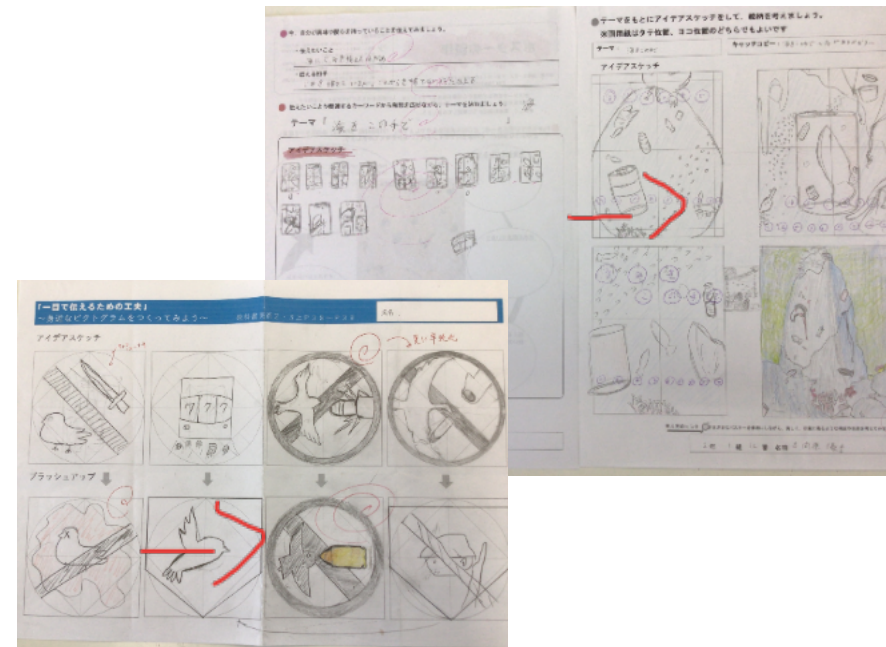
【具体的な取組】表現  
構想段階で・・・

作品に関する発想や構想をアイデア  
スケッチやメモ書きを示しながら小  
グループで発表し合う活動を実施。自  
分自身の発想・構想の幅を広げていく  
ことがねらい。



## 【成果と課題】

- 自分のアイデアを整理し、言葉で説明することができた。
- 友だちの考えに触れ情報交換をする中で、制作上の行き詰まりが解消された。
- ▲小グループから全体への共有が時間の都合上できなかつた。



# 美術科：知識・技能を高めるための教え合い活動

## 【具体的な取組】 表現活動 制作段階で

彩色の技法や工夫などを小グループで学び合う。技法の工夫や適切な道具の使い方などをお互いに教え合い、作品を深めることがねらい。

## 【成果と課題】

- 道具の使い方をお互いに確認することができた。
- 技能面の工夫を参考にすることができた。
- 配色などお互いにアドバイスし合うことで、制作上迷いがなくなった。
- ▲配色などがグループ内で似通ってしまった。



# 美術科：鑑賞の能力を高めるための合評会

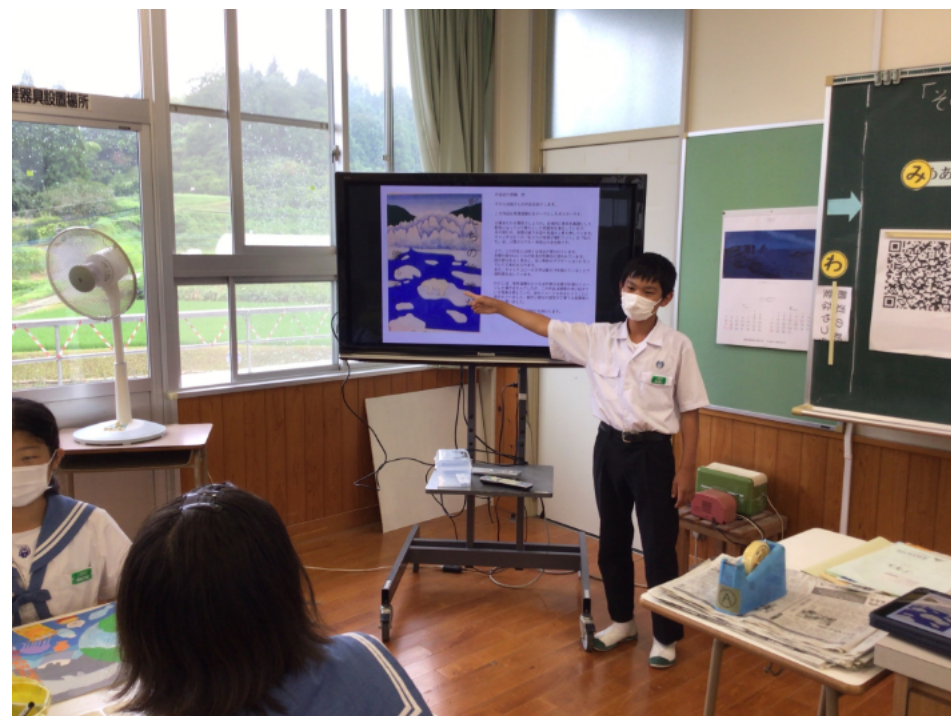
## 【具体的な取組】 鑑賞活動

合評会（がっぴょうかい）

友だちの作品を鑑賞して他者へ紹介する活動。批判はいっさいせず作品の良いところや魅力を見つける。作者の思いに迫り、自分なりの作品の見方を探求し言語化することがねらい。

## 【成果と課題】

- 作品の良さを思いがけなく友だちから褒められ自信に繋がった。
- 様々な作品の見方があることに気づくことができた。
- ▲作品紹介後の意見のやり取りなども実施できればよかった。



# 保健体育：オリエンテーションの充実

## 【具体的な取組】

単元の最初に「何を学ぶのか」、「どのように学ぶのか」、「ゴールの姿は何か」を明確にすることで、生徒の主体的な学びへと導いていく。パワーポイントを使用し、よりわかりやすく伝わるよう工夫して教師が作成している。



## 【成果と課題】

○単元の最初に、しっかりとオリエンテーションを行ったことで、学習内容が理解でき主体的な学びにつながる事ができた。

▼パワーポイントで授業を進めたこともあり、重要ポイントが再確認できないことがあった。



# 保健体育：「見るところ」の設定～ポイント3つ～

## 【具体的な取組】

どの単元も、ポイントは3つに絞り互いにアドバイスをしやすいようにしている。3つのポイントが十分に達成できたところで、次の段階へのポイントを差し出すようにした。



## 【成果と課題】

○ポイントを絞ったことで、教師が喋りすぎることなく生徒主体で授業が進んでいくので、生徒の達成感が高い。また、互いにアドバイスをしたことで、自尊心が高まり運動をレベルアップすることに対して意欲が高まった。

▼ペアやグループ編成次第で、ただ「いいよ」「できてる」で終わってしまう活動もあった。具体的なアドバイスができていないこともあり、マンネリ化を招いた。

# 保健体育：「する」「見る」「支える」「知る」の立場からの学習

## 【具体的な取組】

特に水泳の授業では、見学が多い。ただ見学をして見学カードを書かせるだけでなく、「誰の泳ぎがどのようにできていたのか」「誰の泳ぎのどの部分に改善が必要なのか」を見学者同士で話し合いをさせ「見る」「支える」側からの視点で学習をさせた。

## 【成果と課題】

○学習を進めていくと、生徒が自らタブレットを使って、泳法のコツを調べたり、安定したスピードで泳ぐための注意点を調べて仲間に伝えたりしていた。

▼見学者は毎時間変わるので、タブレットでの撮影に偏りがあり自分の泳ぎを映像で確認できない人もいた。



# 保健体育：1人学びとペア・グループ学習のコラボレーション

## 【具体的な取組】

どのような学びにおいても、1人でしっかりと自分自身に向き合い、技を磨くことは大切なことである。自分自身との対話や道具との対話も大事にしつつ、自分1人では解決できなかった課題をペアやグループ学習を通じて解決してくようにした。

## 【成果と課題】

○1人学びを入れたことで、しっかり自分の課題を理解し、向き合う姿が見られた。また、タブレットを使って何度も技を確認するなど主体的な学びに繋がった。どうしても1人では解決できない時は自らペアとなる人を探して、補助を頼んだりする姿も見られた。

▼ごく一部ではあるが、他者を頼ることができず、1人学びばかりして結局課題が解決できない生徒がいた。



# 保健体育：生徒がバランスよく考えるペア・グループの編成

## 【具体的な取組】

誰が誰とペアを組むのか、誰と誰が同じグループになるのかという編成は学習を進めていく上で大変重要である。そのため、編成は生徒たちが協力してバランスよく行うようにしている。そうすることで、誰1人取り残さない学びへと繋げている。

## 【成果と課題】

○生徒同士の間関係も踏まえた編成をしたことで、質問がしやすくなったり、アドバイスを素直に聞くことができるようになったりした。また、役割分担も明確になり、活動がスムーズになった。ポイントを押さえるための練習の工夫や場所の工夫がグループごとで見られ、より深い学びに繋がった。

▼少ない人数ということもあり、やや編成が固定化しつつある。



# 保健体育：教え合い活動がリーダー育成に

## 【具体的な取組】

教え合いの授業の積み重ねが、リーダーを育成している。言葉かけひとつで相手に伝わるか伝わらないかが理解できているので、より丁寧な説明や声かけをするよう指導している。全校ダンスの練習では難しい振り付けを言葉に落として、説明文やリズムの取り方を何度も練習し、事前の打ち合わせを重ねた。



## 【成果と課題】

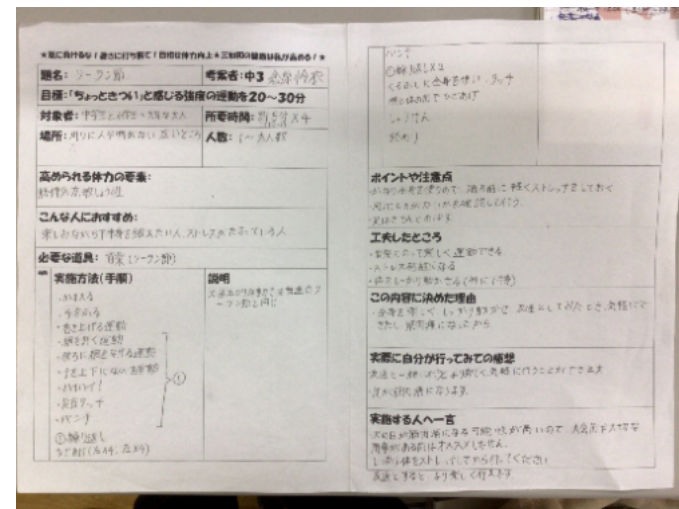
○難しい振り付けであったにも関わらず、言葉かけやリズムの取り方など相手がわかりやすく、楽しく覚えてもらうためにはどうしたら良いのかを考え実行していた。ダンスリーダーだけでなく3年生全体が、下級生に一つひとつ丁寧に振り付けを教え、振り付けを早く覚えた1・2年生が自分の学年に振り付けを教えるなど積極的に行動していた。

▼誰もがリーダーとして活躍ができる環境であるが、力を持っていながらも自信がなく人前に立つことができない生徒がいた。

# 保健体育：小学校との連携～オリジナルお家トレーニングの紹介～

## 【具体的な取組】

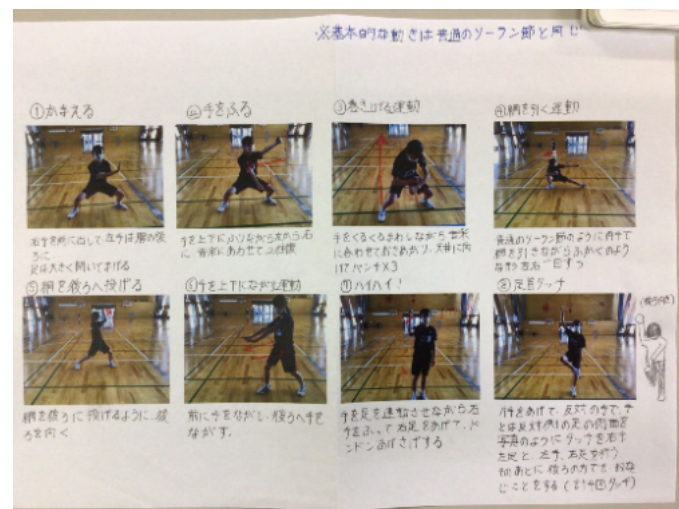
体づくり運動では、自宅でできる運動を考えた。  
それぞれ工夫を凝らし、小学生から大人まで楽しく自宅で運動するプログラムを考案した。ただ考案するだけでなく、小学生に紹介し夏休みの積極的な運動を呼びかけた。



## 【成果と課題】

○中学生らしいユーモア溢れるトレーニングアイデアがたくさん出た。どのようなトレーニングが対象者に好まれるかなど、他者の気持ちになって考えていた。

▼実践した人からのフィードバックがないので、紹介して終わりになった。



# 技術・家庭科（技術分野）：個別の学習から学び合い活動



## 【具体的な取組】

「学び合いのススメ」に記載しているように、まずは個人の学習として自分の考えを整理してまとめる時間を設定した。その後、グループ全員が理解できるように学び合い活動を行った。

また、いくつかのグループに自分たちの考えを発表する場の設定をした。



## 【成果と課題】

○個人の時間を取ることで、しっかりと課題と向き合おうとする意識ができ、学び合いの時間には、自分がわからないところを積極的に質問する姿勢がみられた。

▼個人で考える時間と学び合いの時間を教師側で設定しないと、個人で悩む時間が多くなり、課題が進まないことが起こる。

# 技術・家庭科（技術分野）：相互評価の活動



## 【具体的な取組】

作品の制作が終わった後に、お互いの作品を評価して、良いところや改善点などを出し合う活動を行っている。

生徒同士の意見や考えを聞いた後、自分の作品に取り入れたりする時間を設定した。



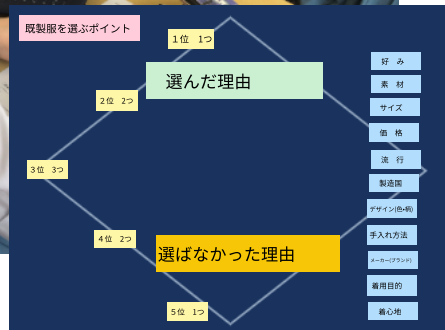
## 【成果と課題】

○生徒同士でお互いの状況を知り、評価を行うことで自分も良いところは取り入れようとする積極的な姿勢がみられた。

▼生徒全員の商品を見てコメントを出し合う時間は取れないので、閲覧した生徒の状況で学びに差がでてしまう。



# 技術・家庭科（家庭分野）：ロイロノートを活用した個別学習



## 【具体的な取組】

家庭分野における学習内容では、様々な実習活動を行う場面がある。全体での指導を行った後は、生徒の技能の差によって作業時間や内容が個人で変わってくる。

そこで、作業内容を映像で作成し、作業進度に合わせて閲覧しながら、個別に作業ができるようにした。また、試行錯誤しながら考える題材等では、イラストを並べかえることでできる教材を作成した。



## 【成果と課題】

- 実習など作業内容を映像に残すことで、遅れている生徒も進捗が速い生徒も個別に進めることができ、有効であった。
- 試行錯誤しながら考える題材では、今まで紙面上で考えていたもの、タブレットの画面上で移動させながら考えることができるようになり、時間を有効に使うことができた。
- ▼実習の説明書などを自分で見ることが減り、映像に頼りすぎる生徒もでてきた。（説明書を読み取る力が減少）

# 技術・家庭科：振り返りシートと確認テストの活用

学習領域	学習の目標	学習の目標
学習領域： 技術・家庭科	学習の目標	学習の目標
学習内容： 針車・刺繍のプログラミングによる応用	学習の目標	学習の目標
1 針車・刺繍のプログラミングによる応用	学習の目標	学習の目標
2 プログラムを動かすプログラムを作る	学習の目標	学習の目標
3 プログラムを動かすプログラムを動かす	学習の目標	学習の目標
4 生活の中にある問題を解決しよう	学習の目標	学習の目標

## 【具体的な取組】

今年度は、技術・家庭科で学ぶ題材ごとに振り返りシートの作成を行った。1時間ごと（内容によっては2時間）の目標を提示し、その時間に学習した内容で、「わかったこと」「わからなかったこと」を記入するようにしている。また、題材の最終目標も提示し、その題材が終わったときの自分がどれくらい目標に達しているか記入させている。

この振り返りシートごとに「学習の確認」のプリントを作成し、1枚の振り返りシートが終わったときに、確認テストを行うようにしている。

学習領域	学習の目標	学習の目標
学習領域： 技術・家庭科	学習の目標	学習の目標
学習内容： 衣類の製作と手入れ	学習の目標	学習の目標
1 衣類の製作と手入れ	学習の目標	学習の目標
2 衣類の縫製とコーディネート	学習の目標	学習の目標
3 衣類の縫製とコーディネート	学習の目標	学習の目標
4 衣類の縫製とコーディネート	学習の目標	学習の目標
5 衣類の縫製とコーディネート	学習の目標	学習の目標
6 衣類の縫製とコーディネート	学習の目標	学習の目標
7 生活の中にある問題を解決しよう	学習の目標	学習の目標

学習領域	学習の目標	学習の目標
学習領域： 技術・家庭科	学習の目標	学習の目標
学習内容： 衣類の製作と手入れ	学習の目標	学習の目標
1 衣類の製作と手入れ	学習の目標	学習の目標
2 衣類の縫製とコーディネート	学習の目標	学習の目標
3 衣類の縫製とコーディネート	学習の目標	学習の目標
4 衣類の縫製とコーディネート	学習の目標	学習の目標



**上の働き**

1. 衣類の洗濯について確認しよう。

2. 衣類の縫製について確認しよう。

3. 衣類の縫製 (小針の縫製)

4. 衣類の縫製 (大針の縫製)

5. 衣類の縫製 (大針の縫製)

6. 衣類の縫製 (大針の縫製)

7. 衣類の縫製 (大針の縫製)

8. 衣類の縫製 (大針の縫製)

9. 衣類の縫製 (大針の縫製)

10. 衣類の縫製 (大針の縫製)

11. 衣類の縫製 (大針の縫製)

12. 衣類の縫製 (大針の縫製)

13. 衣類の縫製 (大針の縫製)

14. 衣類の縫製 (大針の縫製)

15. 衣類の縫製 (大針の縫製)

16. 衣類の縫製 (大針の縫製)

17. 衣類の縫製 (大針の縫製)

18. 衣類の縫製 (大針の縫製)

19. 衣類の縫製 (大針の縫製)

20. 衣類の縫製 (大針の縫製)

21. 衣類の縫製 (大針の縫製)

22. 衣類の縫製 (大針の縫製)

23. 衣類の縫製 (大針の縫製)

24. 衣類の縫製 (大針の縫製)

25. 衣類の縫製 (大針の縫製)

26. 衣類の縫製 (大針の縫製)

27. 衣類の縫製 (大針の縫製)

28. 衣類の縫製 (大針の縫製)

29. 衣類の縫製 (大針の縫製)

30. 衣類の縫製 (大針の縫製)

31. 衣類の縫製 (大針の縫製)

32. 衣類の縫製 (大針の縫製)

33. 衣類の縫製 (大針の縫製)

34. 衣類の縫製 (大針の縫製)

35. 衣類の縫製 (大針の縫製)

36. 衣類の縫製 (大針の縫製)

37. 衣類の縫製 (大針の縫製)

38. 衣類の縫製 (大針の縫製)

39. 衣類の縫製 (大針の縫製)

40. 衣類の縫製 (大針の縫製)

41. 衣類の縫製 (大針の縫製)

42. 衣類の縫製 (大針の縫製)

43. 衣類の縫製 (大針の縫製)

44. 衣類の縫製 (大針の縫製)

45. 衣類の縫製 (大針の縫製)

46. 衣類の縫製 (大針の縫製)

47. 衣類の縫製 (大針の縫製)

48. 衣類の縫製 (大針の縫製)

49. 衣類の縫製 (大針の縫製)

50. 衣類の縫製 (大針の縫製)

51. 衣類の縫製 (大針の縫製)

52. 衣類の縫製 (大針の縫製)

53. 衣類の縫製 (大針の縫製)

54. 衣類の縫製 (大針の縫製)

55. 衣類の縫製 (大針の縫製)

56. 衣類の縫製 (大針の縫製)

57. 衣類の縫製 (大針の縫製)

58. 衣類の縫製 (大針の縫製)

59. 衣類の縫製 (大針の縫製)

60. 衣類の縫製 (大針の縫製)

61. 衣類の縫製 (大針の縫製)

62. 衣類の縫製 (大針の縫製)

63. 衣類の縫製 (大針の縫製)

64. 衣類の縫製 (大針の縫製)

65. 衣類の縫製 (大針の縫製)

66. 衣類の縫製 (大針の縫製)

67. 衣類の縫製 (大針の縫製)

68. 衣類の縫製 (大針の縫製)

69. 衣類の縫製 (大針の縫製)

70. 衣類の縫製 (大針の縫製)

71. 衣類の縫製 (大針の縫製)

72. 衣類の縫製 (大針の縫製)

73. 衣類の縫製 (大針の縫製)

74. 衣類の縫製 (大針の縫製)

75. 衣類の縫製 (大針の縫製)

76. 衣類の縫製 (大針の縫製)

77. 衣類の縫製 (大針の縫製)

78. 衣類の縫製 (大針の縫製)

79. 衣類の縫製 (大針の縫製)

80. 衣類の縫製 (大針の縫製)

81. 衣類の縫製 (大針の縫製)

82. 衣類の縫製 (大針の縫製)

83. 衣類の縫製 (大針の縫製)

84. 衣類の縫製 (大針の縫製)

85. 衣類の縫製 (大針の縫製)

86. 衣類の縫製 (大針の縫製)

87. 衣類の縫製 (大針の縫製)

88. 衣類の縫製 (大針の縫製)

89. 衣類の縫製 (大針の縫製)

90. 衣類の縫製 (大針の縫製)

91. 衣類の縫製 (大針の縫製)

92. 衣類の縫製 (大針の縫製)

93. 衣類の縫製 (大針の縫製)

94. 衣類の縫製 (大針の縫製)

95. 衣類の縫製 (大針の縫製)

96. 衣類の縫製 (大針の縫製)

97. 衣類の縫製 (大針の縫製)

98. 衣類の縫製 (大針の縫製)

99. 衣類の縫製 (大針の縫製)

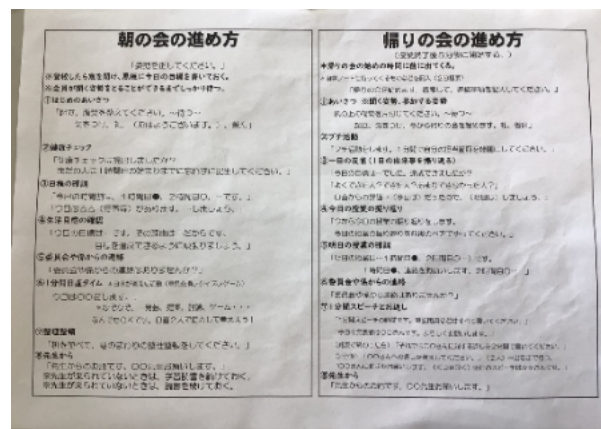
100. 衣類の縫製 (大針の縫製)

## 【成果と課題】

○振り返りシートを作成したことで、生徒も先を見通すことができるようになったが、教師側も生徒の実態把握がしやすくなったと思う。

▼個人で理解度を評価させているため、それぞれの自己評価にばらつきがあり、確認テストを実施してみると大きな違いとなっている。

# 学活：朝の会、帰りの会の日常的な取組



## 【具体的な取組】

朝の会ではその日の日直が企画を考えてみんなを動かす「日直タイム」と帰りの会ではその日1日の学習の振り返りをする「今日の授業の振り返り」を行なった。

## 【成果と課題】

○「日直タイム」ではゲームやクイズなど様々なことを行なった。自分たちが準備したことで、みんなを動かす体験を継続にさせることができた。

○「今日の授業の振り返り」ではその日1日の学習で特に印象に残っていることを「振り返りの視点」に即して伝え合わせることで、その日の家庭学習につなげることができた。

▼初めにある程度の型を示すことで、オリジナリティに掛ける内容になってしまったことがあった。

「日直タイム」にしても、「振り返り」にしても、自分の言葉で自分たちなりに実践していくことを強調していく必要がある。



# 特活：人権スローガン作成の取組



## 【具体的な取組】

人権学習のまとめとしてクラスの人権スローガンを作成する活動を行なったが、2年生は水平社宣言の学習だったこともあり、クラスの人権宣言を作成した。それぞれが考える行動宣言を班ごとに出し合い、班の行動宣言、クラスの行動宣言へと発展させた。

## 【成果と課題】

○自分の考えを班の中で出し合わせることで、周囲のクラスメイトの考えを知ることができ、自分の考えを深めることができた。

○ICTを活用させることで全体での共有を効果的に行うことができた。

▼話し合い活動の前に、時間が十分ではない生徒がおり、自分の考えを持つことができないまま活動に参加している生徒がいた。自分で考えて自分なりの考えを持つこと、自分の考えに自信を持つことができるためには、十分な時間の確保が必要である。



## 道徳

### 【具体的な取組】

#### 導入（初発問の工夫）

毎回の授業で、初発問を重要視している。最初の発問で、この授業で「何を考えるのか」「自分ならどうするのか」という考えるきっかけやヒントにしたいからである。特に3年生になると、内容や文章も難しくなり、内容をうまく理解できず、自分の考えを持つまで至らない生徒がいるからである。

#### 「成果と課題」

- 内容を噛み砕き、生徒の日常に即した質問をすることで、何を考えるべきかを理解できるようになった。また周囲の意見や考えを聞くことで、今から何を学ぶのかを理解できる生徒が増えた。
- ▼内容をわかりやすくしようとするあまり、教師側が話し過ぎたことで発問の意図と内容が結び付かず、最後のまとめで方向性がずれた感想が出る時もあった。

## 道徳

### 【具体的な取組】

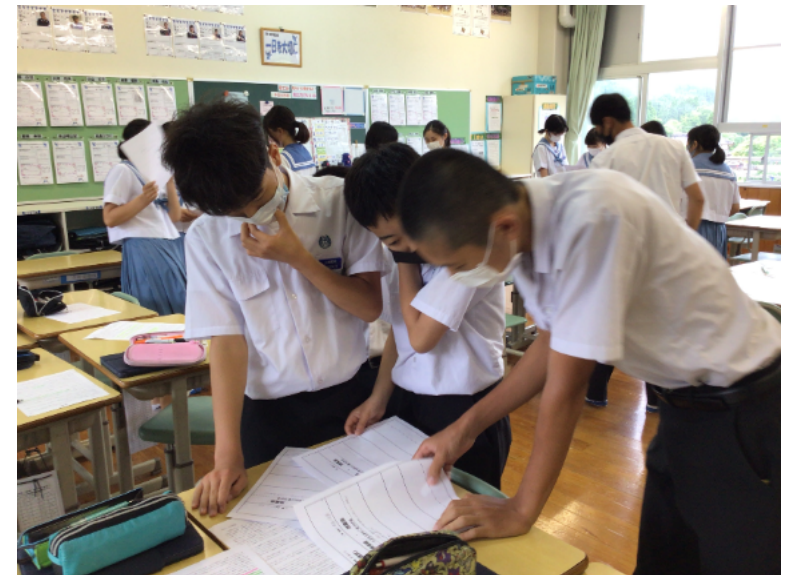
ペアでの考えを共有する活動

自分の考えを相手にうまく伝えるよう、ペアでの活動を取り入れている。自分の考えを書いたワークシートを持って席を移動し、他者に「自分はこう考えた。なぜなら…」と自分の考えを説明し、説明された方はその考えを聞いた感想をワークシートに書かせるようにしている。そうすることで、自分の考えと他者の考えを比較したり、共感したりして考えを深めることに繋げている。

### 「成果と課題」

○自分の考えに共感してもらったことで生徒の自尊感情の高まりを感じることができた。

▼毎回同じペアになりがちであるため、感想が「私もそう思う。」と端的に終わることもあり、ペア編成の工夫が必要であると感じた。



## 道徳

### 【具体的な取組】

#### グループ活動（話し合い）

ペア学習とは違い、人数が2～3人増えるが、役割分担をして話し合い活動を進めている。司会、記録、発表と役割分担をし活動を進めていく。毎回同じ人が同じ役割にならないようにして、誰もが話し合い活動の中心になるようにしている。

### 「成果と課題」

○1人ひとりの意見を尊重してまとめる力がついた。また、発表の仕方もただ書いてあるものを発表するだけでなく、他に伝わるように話す向きを変えて話したり、端的に

説明したりすることができるようになった。

▼全員が成果に結びついたわけではないので、うまく話し合い活動が進まなかったグループもあり、まとめが中途半端になった時もあった。ある程度の話し合い活動の型は必要だと感じた。



## 特別活動

### 【具体的な取組】

進路学習を通じて、身の回りの差別について考える。

進路学習を通して、これまでの生き方を振り返りこれからの生き方について考える学習を行った。特にクラスの全員が高等学校への進学を希望しており、進路を考えていく中でも差別があることを学び、自分が当事者になった時にどのように対処するのかを考えるようにしている。

### 「成果と課題」

○多くの生徒が、「進路を考える中でも差別があるということを初めて知った。」と感想で答えており、半数以上の生徒が「自分の人生は自分でしっかり考えて決めていきたい。」と述べていた。また、「周囲のアドバイスも必要だから、自分の考えばかり押し通すのではなく、いろいろな意見を聞いて進路を決めていきたい。」と考えている生徒もいた。

▼実際に自分が当事者になったら、「（登場人物のように）意見や考えをはっきりと伝えられるかわからない。」と答えた生徒もあり、自分の考えを持ち他者にそれを伝えるための経験は、日常的に必要なと感じた。



## 特別活動

### 【具体的な取組】

様々な講話を聞き、自分の考えを深める  
年間を通じて、様々な内容の講話を聞いている。  
講話を聞くことで、より多くの人々の考えに触れる  
ことができ、自分の生活や考えに重ねることによ  
って、さらに自分の思いや考えが深まるようにし  
ている。



### 「成果と課題」

○講話を聞いたことで、ボランティア活動に参加したいという生徒が現れ、実際に夏休みに地域のボランティアに参加した。また、講話を聞いた後の感想では、自分の言葉で自分の考えを表現する生徒が増え、感想の内容が少しずつ充実してきている。

▼たくさんの知識や考えに触れる機会であるが、その場で感想を述べたり質問したりすることにはつながっていない。

## 特別活動

### 【具体的な取組】

#### 主体的な生徒会活動の実践

生徒会役員と7つの専門委員会で生徒会活動を行っている。ただ行うだけでなく、生徒が主体的に行うことに重きを置いており、「いつまでに何をしなければならないのか。」「どのような話を委員会や全校集会で話すべきか。」と生徒同士で話し合っ  
て活動を進めている。特にfuture BOXという目安箱をデジタル化して、より早く質問や要望に応えられるように対処したり複数の委員会が協力して、活動をしたりなど生徒ならではのアイデアが活動の随所に散りばめられている。



#### 「成果と課題」

○教師側が意図的に、委員長を中心に進めるようにすることで、委員長自身が責任感を持って取り組むことができるようになった。また、他の生徒もその様子をしっかりと観察し協力するなど、活動がより活発化している。

▼まだまだ大人の手が入り過ぎている部分もあり、もっと主体的に活動させたい部分が多くある。干渉し過ぎず、見離さずの程よい距離を保つのが大切であると感じた。

**総合的な学習の時間：本時の活動の目的を把握し、意見交流をする。**

## **【具体的な取組み】**

「おいしさ、笑顔、満足を提供する」という企業理念に叶うような商品について考え、アイデアを出しあう。



## **【成果と課題】**

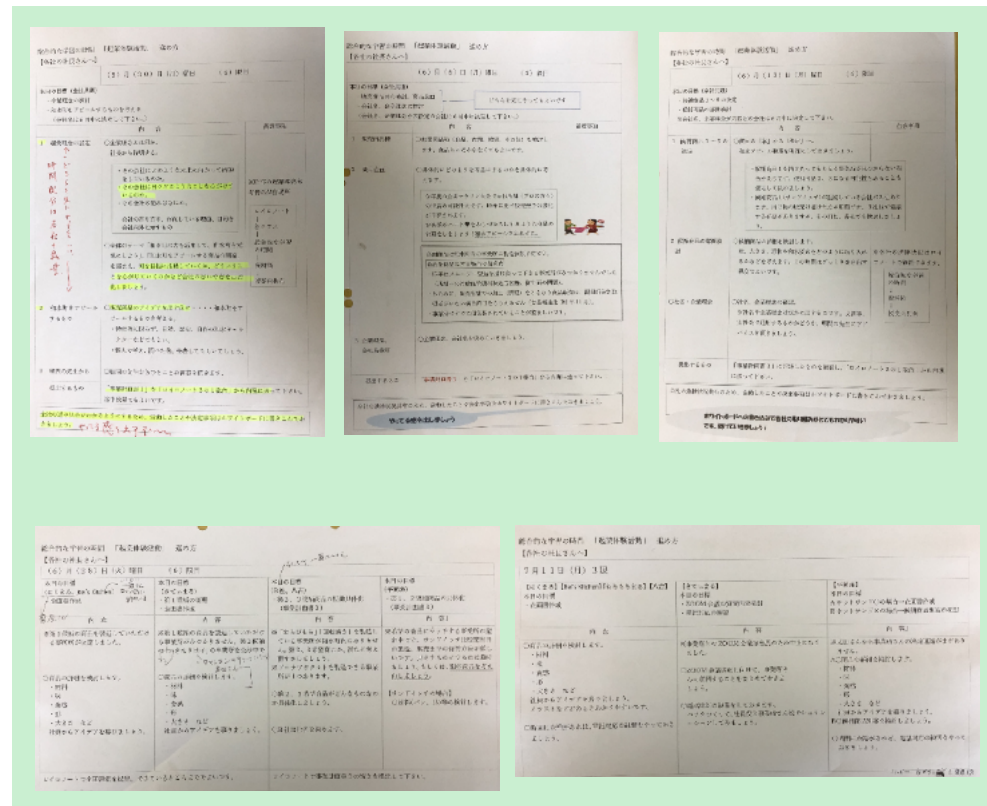
○和やかでお互いに認め合う雰囲気できており、活発な意見交流ができた。

▲目的を見失った意見の出し合いになることがあった。

# 総合的な学習：起業体験進捗共有のためのツールの工夫

## 【具体的な取り組み】

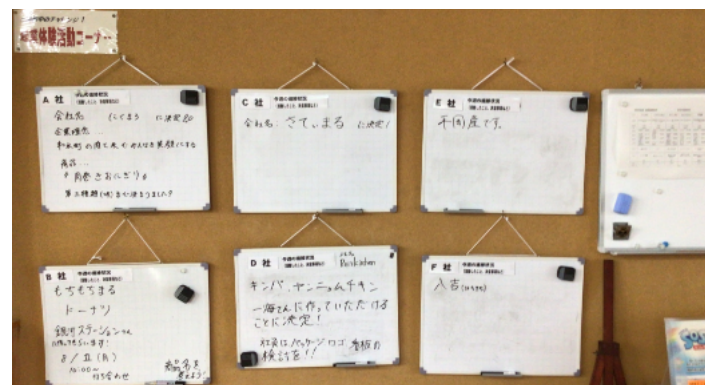
- ①「進め方」を総合学習実施の前週に社長と打ち合わせ。社長は活動の内容を把握し協議活動のスタイルを検討して活動に臨む。
- ②授業終了後に各社での取り組みを社長がホワイトボードに示し、進捗状況を全校生徒が共有。
- ③活動終了後、社長が成果物を担当のロイロノートに送信。活動の評価（励まし）を返信。



## 【成果と課題】

○各社のアイデアや進捗を共有することができた。

▲社長の負担感を感じる。



さている

## 総合的な学習の時間：ロイロノートを活用した資料集め

### 【商品を決断するときのアイデア】

- ①作ってみたいもの、やってみたい取り組みを、ロイロノートで共有する。（担当に送って、それを担当が社員全員に送るかたち）
- ②パッケージの画像をそれぞれ検索し、出てきたものをみんなで共有する。
- ②会社のロゴマークは、ペイントで各自作成中。いいものを選んで、改善していく。

# 道徳：討論による思考の深化

## 【具体的な取組】

教材で提示される事象について自分の立場や意見を明確に考え、討論の形で交流することで視点や思考を深める。

## 【成果と課題】

- 自分の立場を明確にすることで、しっかりと自分の考えを持つことができた。
- 逆の立場で意見を考える活動等を取り入れたことで、考えを深めるとり相手の視点を尊重することができた。
- ▼問題によっては常識的に答えが偏る場合も多く、内容の精選が必要である。



道徳：活動のルーティンとポイントの提示の工夫

【具体的な取組】

道徳の授業における活動を幾つかパターン化させることで、その時の活動や目的を把握しやすくし、視覚的な効果によって関心を高める。

【成果と課題】

- 導入において親しみのある漫画等を用いることで、関心を高めることができた。
- 「自分の答えを見つける」「今日の名言」等の活動を常時行うことで活動の方向性や目当てを明確に持つことができるようになった。
- ▼取り扱う資料によっては、本来の趣旨が伝わりにくいことがある。扱いを精査していかなければならない。

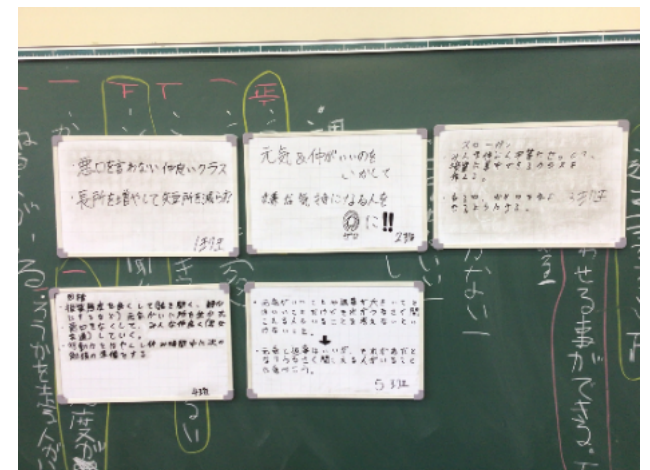
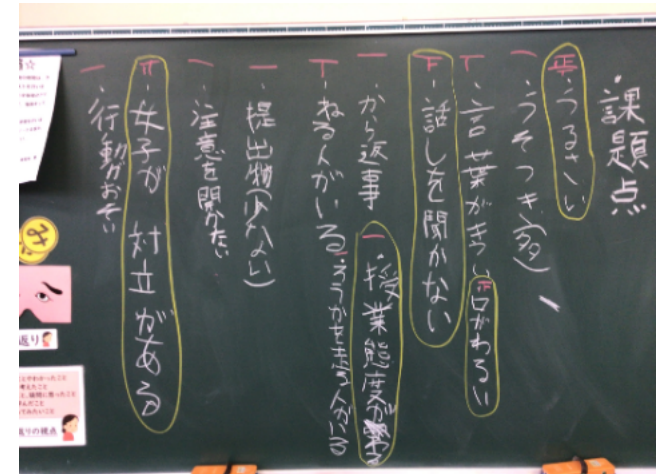
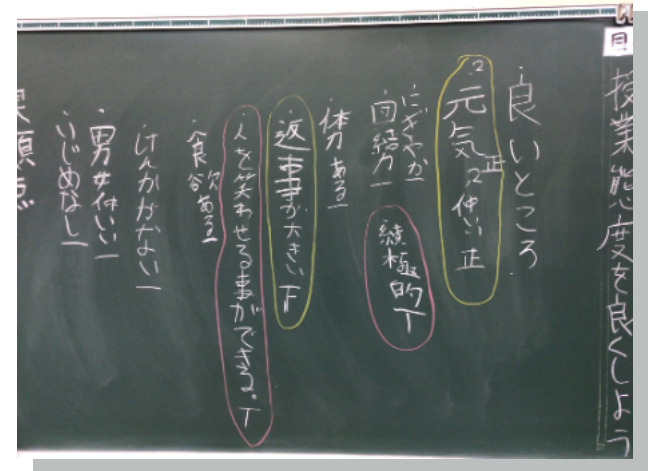
学活：考えを精査し合い練り上げる

### 【具体的な取組】

クラスのいい点、課題点について班ごとに列挙させ、それを踏まえた目標について班→全体で検討する。

### 【成果と課題】

- 思考や活動の段取りを明確にしたことで思考の場面と協働の場面のメリハリつき、活動をスムーズに行えた。
- 協力していく段階を順を追って行えたため、全員で協力して取り組む意識を持たせることができた。
- ▼しっかりと思考する時間を確保することができず、全体での練り上げが十分達成できなかつた。





# 企業体験活動（商品開発編）

## 【具体的な取り組み】

3年生を中心として、自分たちの会社を立ち上げ、何を販売するかを相談して考えている。和水町の特産品や地域の特徴を出しながら考えている。また、文化発表会、金栗マラソン大会ではどんな商品をお客様は購入したいと思うのかなど、相手の立場に立って考えている。

## 【成果と課題】

- お互いに自分の考えや思いを伝え合うことができる。
- 前年度の経験を役立てている。
- ▼話し合うメンバーが固定してしまう。
- ▼アイデアを出すができるもの、できないものが出てくる。



# 生徒会活動（より良い学校生活に向けて）

## 【具体的な取り組み】

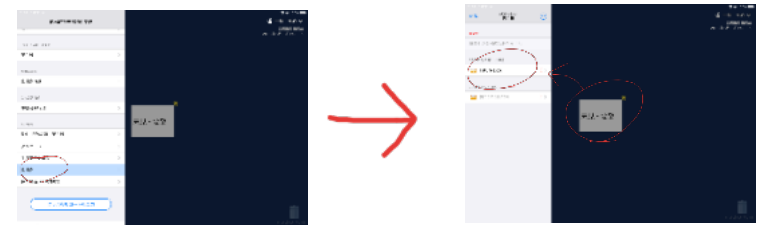
生徒会が考案し、ロイロノートを利用してFutureBoxと名前をつけた、意見箱を作成している。ここに自由に意見を出してもらい、生徒会で考えて返答をしている。特に、今年度力を入れていることは、規則の見直しについてである。規則について要望があると、それについてさまざまな意見を出して考え、全校生徒にアンケートを取ったり、自分たちで要望書を作成したりして、より良い解決方法を考えている。

## 【成果と課題】

- 生徒達自身で学校生活がより良いものになるように考えて行動している。
- 話し合いで自分たちの考えを持ち、周囲に伝え合っていることで、良し悪しだけでなく、様々な方向から物事を考えようとしている。
- ▼意見をもらってから時間がかかる場合もある。

Future Box

「生徒会」→意見・要望を書いて  
→「提出箱」→「Future Box」



生徒会四役

生徒会で作成し、全校生徒に配付した案内